

研究紀要

第36号 令和5年3月

研究紀要

Journal of The Institute of Religion and Culture

New Series No.36 March, 2023

第36号 (令和五年三月)

京都女子大学宗教・文化研究所

目次

鎌倉幕府の成立と坂東武士の官職	野口 実	1
<令和3年度 仏教文化公開講座講演録要旨>		
生死出づべき道を求めて	満井 秀城	27
称友『俱舎論明義釈』「三世実有」(和訳) SA 468, 24-477, 26	秋本 勝	147
地方小都市における合葬墓設立の潮流と 合葬墓移行型墓所の新システム ～北海道東神楽町と旭川市、石川県内灘町等と 金沢市の2都市圏を事例として～	楨村 久子	117
コロナ禍における自然体験活動の取り組み	宮野 純次	101
小・中学校9年間を見通した「命と自己の生き方を見つめる 教育」に向けた国語科の系統的な指導に関する研究	水戸部 修治	83
屋外喫煙所周囲の環境タバコ煙(ETS)における 空気中ニコチン量の検討	中村亜紀 宮脇尚志	67
学部学生の男女比からみた教育・研究費の偏りとその影響	辻 雅弘 栗屋美絵	45
日本における外国人労働者をめぐる法政策の展開と課題 —労働市場に及ぼす影響と人権保障の視点から—	烏蘭格日樂	21
学校清掃と生徒指導 —「無言清掃」を実践する中学校3校への訪問調査から—	表 真美	1

CONTENTS

Establishment of the Kamakura Shogunate and the official Court titles of the Bando samurai	Minoru NOGUCHI	1
Seeking a path that transcend birth-and-deth	Shujou MITSUI	27
A Japanese Translation of Sphuārthā Abhidharmakośa-vyākhyā ad Traikālyaparīkṣā of abhidharmakośa V chapter	Masaru AKIMOTO	147
A Study on the Construction of Tomb in regional City, and A New System of Common Tomb ~Two Case of Asahikawa City & Kanazawa City in district Capital ~	Hisako MAKIMURA	117
Approach to nature experience activities under the situation of COVID-19 Pandemic	Junji MIYANO	101
A Study on Systematic Instruction in Japanese Language for “Education that think deeply about Life and the Way of Life of the Self” with a view to the nine years of elementary and junior high school	Shuji MITOBE	83
Examination of Nicotine Concentration in Environmental Tobacco Smoke around The Outdoor Smoking Area.	Aki NAKAMURA Takashi MIYAWAKI	67
Inequality in education and research funding in universities with respect to ratios of female/male students; preliminary study	Masahiro TSUJI Mie AWAYA	45
Legal Policy Development and Legal Issues for Foreign Workers in Japan — From the perspective of impact on the labor market and protection of human rights —	Wulangerile	21
School Cleaning and Student Guidance : Survey for three junior high schools that practice “Silent Cleaning”	Mami OMOTE	1

令和三年度事業報告

1 研究助成

Ⅱ「人文・社会・自然の各分野における研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

①「学校清掃の歴史の変遷と現状、および教育に及ぼす影響」

兼任研究員 表 真美

②「日本における外国人労働者をめぐる法政策の展開と法的課題―労働市場に及ぼす影響と人権保障の視点から―」

兼任研究員 烏蘭格日樂

③「学部学生の男女比からみた教育・研究費との偏りとその影響」

兼任研究員 辻 雅弘

④「国語科を通じた命と自己の生き方を見つめる教育

に関する基礎的研究」

兼任研究員 水戸部 修治

⑤「自然体験活動における地域の人材との連携(2)」

兼任研究員 宮野 純次

〈共同研究〉

①「平和を創る―理念と実践―」

研究代表者・兼任研究員 中西 恭子
研究分担者・兼任研究員 坂口 満宏

岩 槻 知也
諷 訪 亜 紀
中 田 兼 介
桂 博 美
田 中 めぐみ

②「屋外喫煙所からの受動喫煙に関する研究」

研究代表者・兼任研究員 中村 亜紀
研究分担者・兼任研究員 宮脇 尚志

2 公開講座

講師 本学図書館長、本学文学部教授

中前 正志

仏教文化公開講座

日時 令和3年10月23日(土)

午後1時30分～3時

形式 オンライン開催(Zoom)

講題 「生死出づべき道を求めて」

講師 本願寺派勸学、浄土真宗本願寺派総合研

究所副所長 満井秀城

宗教・文化研究所公開講座

I 令和3年度「宗教・文化研究所公開講座I」に

ついては、日本国内の新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、感染拡大防止の観点から中止となりました。

II 日時 令和4年2月26日(土)

午後1時～4時30分

形式 オンライン開催(Zoom)

講題 「当麻曼陀羅の世界」

講師 本願寺派勸学、本学名誉教授

森田眞円

講題 「仏教説話における話型の転用」

3 研究紀要「第35号」

研究発表

上総千葉氏の族的位置と丹後守護補任の背景について

野口 実

月性事蹟考―坂井虎山との初めての出会いの時期について―

愛甲弘志

『非藏人盟約』と『歎歌道之興廃俳諧長歌二首』
解題と翻刻―非藏人の誠めと戯れ―

大谷俊太

山中延之

加藤弓枝

大山和哉

藤原静香

『俱舎論』三世実有説批判(和訳)

秋本 勝

超高齢多死社会における福祉と医療の看取りと葬送(1)―養護老人ホーム・特別養護老人ホームと在宅の事例―

横村久子

超高齢多死社会における福祉と医療の看取りと葬送(2)〜あそかビハーラ病院と特別養護老人ホームビハーラ本願寺における看取りについて〜

植村 久子

自然体験活動の実践と人々との連携や繋がり

宮野 純次

京都市の神社仏閣における受動喫煙対策に関する実態と課題…質問紙による全教調査を実施して

中村 亜紀

藤田 ももこ

寺岡 里菜

木村 佑来

三好 希帆

野下 結衣

宮脇 尚志

仏教讃歌の合唱指導について〜視覚・聴覚を通して〜

ガハブカ 奈美

4 研究所だより

第73号 (七月発行)

第74号 (二月発行) 第三十六回懸賞論文発表

5 懸賞論文募集

テーマ

(京都女子大学学生及び京都女子大学大学院生)

親鸞の思想、仏教思想や宗教思想等あるいは現代社会の直面しているさまざまな問題について、宗教の視点も加えて論評したもの。たとえば性差別や生命倫理の問題、地球環境、国際関係、ITの普及、少年犯罪やカルト宗教をめぐる問題などに関するもの。題は自由。また、エッセイの形式でも可。

(京都女子高等学校生徒)

1 私と宗教

2 積尊に学ぶもの

3 親鸞聖人に学ぶもの

題は自由につけてください。

(京都女子中学校生徒)

1 私と宗教

2 おしゃかさまと私

3 親鸞さまと私

題は自由につけてください。

(京都女子大学附属小学校児童)

「ほとけさまのこと」「おしゃかさまのこと」

「しんらんさまのこと」について書いてください。題は自由につけてください。

(京都幼稚園年長組園児)

みほとけさまの絵

令和三(二〇二一)年度報告

応募数 646編

大学・大学院生

高校生

中学生

小学生

幼稚園児

入選者 71編

大学・大学院生の部

優秀作

佳作

努力賞

高校生の部

優秀作

佳作

佳作

中学生の部

中学生の部

優秀作

佳作

佳作

小学生の部

金賞

銀賞

幼稚園の部

入賞

6 宗教・文化研究所ゼミナール活動

宗教・文化研究所 野口実客員研究員(本学名 誉教授)を指導助言者として、本学のみならず関西圏の大学に在籍する若手研究者(大学非常勤講師など)・大学院生・学部生、および本学卒業業業を含む一般社会人(中学・高校教員など)が参加して史料講読会などの活動がなされてきた。しかし、指導助言者の定年退職を機に新規参加者がなくなり、コロナ禍によって対面での集会も不可能になったため、本年度はライングループによる旧メンバーの情報交換と『紫苑』執筆に関する連絡程度活動しかなされなかった。

①機関誌『紫苑』の発行
第十九号を発行した。既刊分も含めて、ゼミ
HPで公開済みである。

②その他

ゼミナールは学問・研究に意欲的な他大学の
院生・学部生にも門戸を開いてきた。また、
Facebookページ(宗教・文化研究所ゼミナール)
やHPによって、活動の紹介を積極的に行つて
きた。ゼミナール活動の詳細については、これ
らも参照されたい。

7 その他

資料サービス

図書・視聴覚資料の貸出

編集後記

◇ここに『研究紀要』第三十六号を発刊する運びとなりました。ご協力いただいた先生方には、心より御礼申し上げます。今回も各先生方から、多岐にわたる研究分野の成果を寄稿いただき、深く感謝いたします。

◇令和三年度の宗教・文化研究所公開講座は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、中止となりました。

◇令和三年度の仏教文化公開講座では、本願寺派勧学、浄土真宗本願寺派総合研究所副所長の満井秀城先生に「生死出づべき道を求めて」と題してご講話をいただきました。

◇今後より多くの先生方に「仏教文化を中心に、広く宗教と文化に関する研究を推進し、もって学術の発展に寄与することを目指す」という当研究所設置の趣旨をご理解いただき、多くの研究申請が出されるよう努めていきたいと考えています。

「研究紀要」第三十六号

令和五年二月二十日 印刷

令和五年二月二十八日 発行

京都女子大学

宗教・文化研究所

所長 黒田 義道

〒605-8601 京都市東山区今熊野北日吉町三五

電話 〇七五(五三二)七〇七四(直通)

印刷所 株式会社 同朋舎

〒606-8457 京都市中京区西ノ京馬代町六一二六